

Vol.1

# これからの 公共施設

洞爺湖町ではこれまで多くの公共施設を整備してきました。  
町民の皆さんが安心して暮らせるよう、良いサービスを提供し続けたいと思う一方、  
人口減少や財政状況のひっ迫の影響で  
今あるすべての施設を維持していくことは困難に…  
今回から2回にわたり、洞爺湖町の現状・課題を整理し、  
これから公共施設をどのように管理していくべきか考えます。

## ◎町が持っている公共施設

棟総数⇒213

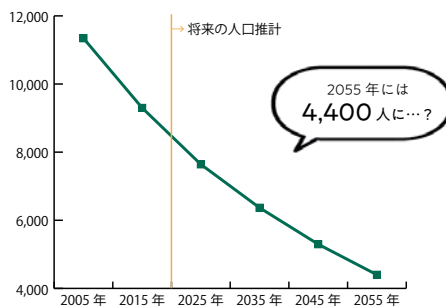
総延床面積⇒約14万5千㎡

町の面積に対する  
施設の総延床面積の割合



## ◎町の人口

2020年国勢調査総人口⇒8,422人



町は人口急増期（昭和40年代後半）に多くの施設を整備しましたが、昭和40～45年の人口のピーク後は減少傾向が続いています。  
また、町の面積に対する施設の総延床面積の割合が全道平均を上回っており、町の規模と比べて少し余分に持っていることがわかります。

せっかくこの数の施設を持っているのなら、すべて修理して活用したら良いのでは？と思います  
が、できない理由があります。

施設の維持が難しい理由は…

①施設の修理やメンテナンスにお金がかかる

↓経過年数が同じくらいの施設が多いので、工事のタイミングが重なってしまいます

②施設を管理する人手の不足

↓高齢化や人口減少の影響で、施設の管理を任せられる人が少なくなっています

③施設を運営するためのお金が減っている

↓運営には光熱費や人件費が必要ですが、人口減少などから町の収入（地方交付税など）や施設利用料などの収入が、今後も減る見込みです

人口が少ないにもかかわらず、多くの施設を持ち続けると、施設管理の費用だけがかかり続け、支出と収入のバランスが合いません。だからと言って施設をなくすだけでは、十分なサービスの提供が難しくなってしまう。この状況をさらに悪化させないためにはどうするべきか…

そこで町では、計画的な施設の統合や集約化を行い、施設の利用率アップにつなげ、

町民のニーズに柔軟に対応

できるよう、取り組みを進めていきます。

具体的な取り組みとは…  
これからの公共施設の考え方は…

今回は、  
広報2月号で  
ご紹介します！

■問合せ 企画財政課  
行財政改革推進室（☎74-3004）

